

進路だより

令和7年度 1学期

栃木県立聾学校 進路指導部

令和7年7月18日発行

1学期に進路指導部で行った主な行事を紹介します。

特別支援連携協議会 5/26(月)

今年度は、卒業生が就労している企業を中心に、連携協議会を開催しました。午前中は宇都宮市内の企業及び関係機関、午後は宇都宮市外の企業及び関係機関に分けて行いましたが、総勢で16企業、10機関の計39名の方々にご参加いただきました。本校教員から「聴覚障害当事者からの話」をさせていただいたり、本校の「情報保障機器について」紹介及び体験をさせていただいたりしました。協議会では「聴覚障害者の雇用状況及び情報交換」を行い、各企業の取組を知ることができました。事後アンケートでは、『生徒の実態を踏まえた、個々の特性を的確にアセスメントすることが大切で、このような協議会などの機会を通して、聾学校の実情をアップデートしていくことが重要だと思っている。』などのご意見をいただきました。今後も企業及び関係機関と連携を図りながら、本校の進路指導に対する、ご理解ご協力をお願いしていきたいと考えています。

中学部 進路の時間 6/17(火)

進路の時間Ⅰでは、高等部の教員方から各学科について説明を受けた後、授業見学を行いました。

中学部とは、また違った高等部の専門的な学習に取り組む先輩たちを見て、今の自分に何が必要か考えられる時間にもつながりました。



高等部 進路講習会 7/3(水)

株式会社ワークエントリー栃木事業部の船生邦子様を講師に、進路講習会として社会人準備講座を行いました。

今年度は将来の就職活動に向けた自己アピール編ということで、自分の長所や短所、短所を克服するために気を付けていることなどをまとめていきました。また、仕事をする上での大切なポイントなども教えていただきました。生徒からは、「メモを取ることの大切さがよく分かった。」といった感想が聞かれ、将来に向けて意識が高まった様子でした。

小学部 進路の時間(4・5・6年1組) 6/25(水)

小学部高学年の進路の時間では、花王株式会社の齊藤哲也氏を講師に、「私のキャリア～メーカーで働く研究員として～」というテーマでお話していただきました。

齊藤様の生い立ちや今の職場でどのような仕事をしているか、またどのような工夫をしているか話していただきました。その中でも、「新しいことに挑戦する。」ことの大切さを教えていただきました。子どもたちも齊藤様の話を真剣に聞いていました。



小学部 進路の時間(1・2年1組)7/8(水)



小学部低学年の進路の時間では、大きくなったら働くことについて話を聞いたり、伝えたいことを相手に伝えるために伝言ゲームを行ったりしました。

今の自分が大きくなったら働くということを知り、働くために今のうちから、「友達や先生とたくさん話す。」「いろんな勉強を頑張る。」「挨拶をきちんとする。」ということを学びました。伝言ゲームでは、話し手をしっかり見たり、「もう一度お願いします。」と聞き返したりして内容をしっかり覚えようとしていました。

中学部 職場見学(A組)6/19(木)

マルハニチロ株式会社宇都宮工場へ職場見学に伺いました。

マルハニチロ株式会社に就職した本校卒業生の先輩から宇都宮工場の概要について説明を受けました。その後に、ハム・ソーセージと鮭のたたきの製造工程を見学させていただきました。

お客様に届くということを意識しながら仕事をしているのだという実感を得ることができました。



高等部 産業現場等における実習及び校内実習(C組)6/10(月)～21(金)

高等部では、「働く力」を身に付けたり、卒業後にどのような仕事をしたいかイメージをもちやすくなりするために、会社や施設での実習を行っています。軽作業や解体分別作業に取り組むとともに、実習先の支援員や利用者の方々とコミュニケーションを図りました。

また、今年度より中学部B組と高等部C組が合同で校内実習を行いました。企業様より作業を提供いただき、5日間緊張感をもって取り組むことができました。

今後も、校内で身に付けた力を校外で発揮できるよう、引き続き学校での学びを丁寧に積み重ねていきたいと思います。



*** 2学期から希望される保護者を対象にした進路面談を実施する予定です。
進路に関して心配なこと、気になることなどありましたら、是非お申込みください。**